

平成23年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	岡山県			職員の状況				区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
				区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)		歳入総額	歳入総額	実質収支比率	0.6	0.5			
グループ	C			特別職等	知事	1	9,030		697,769,102	716,989,084	経常収支比率	92.0	89.4		
					副知事	1	8,160		13,268,627	11,522,219	(※1)	(108.2)	(108.8)		
					教育長	1	7,298		10,959,137	9,625,471	標準財政規模	415,638,968	417,201,989		
					議会議長	1	9,000		2,309,490	1,896,748	財政力指数	0.47999	0.51404		
					議会副議長	1	8,100		412,742	87,630	公債費負担比率	20.6	19.7		
人口	22年国調(人)	1,945,276	一般職員等	議会副議長	1	8,100		7,694,796	5,373,011	健全化判断比率	-	-			
	17年国調(人)	1,957,264		議会議員	53	7,560		-	-	実質赤字比率	-	-			
	増減率 (%)	-0.6		一般職員	5,714	17,913,390	3,135	147,339,513	141,403,209	連結実質赤字比率	-	-			
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	1,931,586	うち消防職員	-	-	-	314,378,055	304,030,418	実質公債費比率	14.6	14.8				
	23.03.31(人)	1,934,057	うち技能労務職員	78	262,080	3,360	185,692,431	177,716,079	将来負担比率	230.7	237.7				
	増減率 (%)	-0.1	警察官	3,462	10,437,930	3,015	387,705,255	385,466,942	資金不足比率(※4)	-	-				
面積(km ²)	7,010			教育公務員	13,904	49,833,786	3,584	477,005,410	497,107,534	地方債現在高 うち公的資金 債務負担行為額(支出予定額) 収益事業収入 定額運用基金 土地開発基金 財政調整金 減債基金 その他特定目的基金	1,336,641,907	1,316,901,848			
人口密度(人/km ²)	276			臨時職員	-	-	-	495,139,839	499,331,869		57,172,826	45,757,872			
世帯数(世帯)	754,511			合計	23,080	78,185,106	3,388	77,891,084	97,702,428		3,713,968	3,506,690			
ラスバイレス指数(※5)	100.2			(92.6)				14,078,303	13,891,633		14,078,303	13,891,633			
								11,294,636	11,104,956		11,294,636	11,104,956			
								16,075,683	8,380,887		16,075,683	8,380,887			
								7,849,273	5,921,165		7,849,273	5,921,165			
								77,891,084	97,702,428		77,891,084	97,702,428			

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）					都道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	191,108,408	26.9	161,864,710	45.2	普通税	190,580,449	99.7	1,497,016	
地方譲与税	25,978,864	3.7	25,978,864	7.3	法定普通税	190,580,449	99.7	1,497,016	
地方揮発油譲与税	3,006,382	0.4	3,006,382	0.8	道府県民税	68,620,284	35.9	1,497,016	
地方道路譲与税	13	0.0	13	0.0	個人均等割	1,331,298	0.7	435,504	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	54,286,434	28.4	-	
石油ガス譲与税	180,531	0.0	180,531	0.1	法人均等割	2,388,162	1.2	113,470	
航空機燃料譲与税	31,060	0.0	31,060	0.0	法人税割	7,797,645	4.1	948,042	
地方法人特別譲与税	22,760,878	3.2	22,760,878	6.4	利子割	1,628,261	0.9	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	986,229	0.5	-	
地方特別交付金	1,892,781	0.3	1,892,781	0.5	株式等譲渡所得割	202,255	0.1	-	
児童手当及び子ども手当特例交付金	1,187,700	0.2	1,187,700	0.3	事業税	29,751,782	15.6	-	
減収補填特別交付金	705,081	0.1	705,081	0.2	個人分	1,405,689	0.7	-	
地方交付税	171,397,464	24.1	167,038,542	46.6	法人分	28,346,093	14.8	-	
普通交付税	167,038,542	23.5	167,038,542	46.6	地方消費税	36,355,672	19.0	-	
特別交付税	4,333,722	0.6	-	-	不動産取得税	3,739,597	2.0	-	
震災復興特別交付税	25,200	0.0	-	-	道府県たばこ税	4,146,730	2.2	-	
(一般財源計)	390,377,517	54.9	356,774,897	99.6	ゴルフ場利用税	934,310	0.5	-	
交通安全対策特別交付金	658,857	0.1	658,857	0.2	自動車取得税	2,515,723	1.3	-	
分担金・負担金	5,473,399	0.8	-	-	軽油引取税	18,021,040	9.4	-	
使用料	3,436,857	0.5	387,095	0.1	自動車税	26,483,000	13.9	-	
手数料	3,101,460	0.4	17,688	0.0	釧区税	12,311	0.0	-	
国庫支出金	80,621,125	11.3	-	-	固定資産税特例	-	-	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	法定外普通税	-	-	-	
財産収入	2,318,805	0.3	95,832	0.0	目的税	527,959	0.3	-	
寄附金	44,178	0.0	-	-	法定目的税	47,581	0.0	-	
繰入金	31,717,434	4.5	-	-	狩猟税	47,581	0.0	-	
繰越金	11,522,219	1.6	-	-	法定外目的税	480,378	0.3	-	
諸収入	78,817,067	11.1	358,423	0.1	旧法による税	-	-	-	
地方債	102,948,811	14.5	-	-	合計	191,108,408	100.0	1,497,016	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	62,907,800	8.8	-	-					
歳入合計	711,037,729	100.0	358,292,792	100.0					

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率 (%)	現年・計	98.8	96.7	98.5	96.4
	道府県民税	98.3	93.6	97.8	93.5
	事業税	99.2	98.1	99.2	97.7

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,517,759	0.2	-	1,517,759
総務費	43,067,889	6.2	728,963	39,931,743
民生費	96,499,720	13.8	4,780,557	79,161,117
衛生費	24,635,724	3.5	4,714,885	10,290,725
労働費	4,322,950	0.6	6,746	742,709
農林水産業費	102,775,121	14.7	19,213,089	15,903,309
商工費	15,427,614	2.2	723,060	11,412,200
土木費	63,646,884	9.1	46,495,662	19,539,899
警察費	43,376,112	6.2	2,863,759	39,466,636
消防費	-	-	-	-
教育費	167,934,904	24.1	4,147,437	127,626,336
災害復旧費	5,674,380	0.8	-	47,698
公債費	101,615,234	14.6	-	98,493,982
諸支出費	8,507	0.0	-	8,507
前年度繰上充入金	-	-	-	-
利子割交付金	922,912	0.1	-	922,912
配当割交付金	586,241	0.1	-	586,241
株式等譲渡所得割交付金	120,154	0.0	-	120,154
地方消費税交付金	17,971,355	2.6	-	17,971,355
ゴルフ場利用税交付金	656,223	0.1	-	656,223
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	1,791,292	0.3	-	1,791,292
軽油引取税交付金	5,218,127	0.7	-	5,218,127
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	697,769,102	100.0	83,674,158	471,408,924

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	325,734,221	46.7	281,908,343	278,721,359	66.2
人件費	212,216,711	30.4	176,988,940	173,912,024	41.3
うち職員給	151,214,339	21.7	121,282,362	121,238,700	28.8
扶助費	12,064,690	1.7	6,587,835	6,572,525	1.6
公債費	101,452,820	14.5	98,331,568	98,236,810	23.3
元利償還金	101,248,691	14.5	98,127,439	98,032,681	23.3
内 うち元金	83,208,752	11.9	80,353,307	80,259,478	19.1
内 うち利子	18,039,939	2.6	17,774,132	17,773,203	4.2
一時借入金利子	204,129	0.0	204,129	204,129	0.0
その他の経費	282,686,343	40.5	171,970,254	108,983,896	25.9
物件費	26,110,948	3.7	17,092,333	15,674,658	3.7
維持補修費	8,585,319	1.2	6,802,041	6,576,824	1.6
補助費等	152,820,835	21.9	131,630,505	85,969,909	20.4
繰出金	3,362,862	0.5	3,352,378	713,193	0.2
積立金	21,504,202	3.1	10,867,414	-	-
投資及び出資金	4,350,653	0.6	1,922,053	-	-
貸付金	65,951,524	9.5	303,530	49,312	0.0
前年度繰上充入金	-	-	-	-	-
投資的経費計	89,348,538	12.8	17,530,327	-	-
うち人件費	1,548,599	0.2	276,473	-	-
普通建設事業費	83,674,158	12.0	17,482,629	-	-
うち補助	43,518,644	6.2	2,358,200	-	-
うち単独	31,283,998	4.5	12,946,612	-	-
災害復旧事業費	5,674,380	0.8	47,698	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	697,769,102	100.0	471,408,924	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成23年度 岡山県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	677,951	668,801	9,150	1,453	-	1,343,945	
2 岡山県母子寡婦福祉資金貸付金特別会計	152	63	89	-	5	241	
3 岡山県心身障害者扶養共済制度特別会計	234	234	0	0	2	-	
4 岡山県就農支援資金貸付金特別会計	365	349	16	-	-	302	
5 岡山県造林事業等特別会計	64,089	64,054	35	24	1,332	2,030	
6 岡山県森林水産総合センター農業研究所実証農場特別会計	37	37	0	-	-	-	
7 岡山県林業改善資金貸付金特別会計	930	760	170	-	1	243	
8 岡山県沿岸漁業改善資金貸付金特別会計	242	67	175	-	3	-	
9 岡山県中小企業支援資金貸付金特別会計	4,411	1,657	2,754	-	-	4,220	
10 岡山県公共用地等取得事業特別会計	2,553	1,807	746	699	1,396	928	
11 岡山県後楽園特別会計	259	252	7	7	9	-	
12 岡山県立高等学校実習経営特別会計	199	199	0	0	-	-	
13 岡山県収入証紙等特別会計	7,188	7,031	157	157	127	-	
14 岡山県用品調達特別会計	1,152	1,143	9	9	5	-	
15 岡山県公債管理特別会計	167,076	167,076	0	-	108	-	
16							実質赤字額
計 一般会計等(純計)	926,838	913,530	13,308	2,349	-	1,351,909	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 岡山県管営電気事業会計	2,063	2,024	39	3,977	-	6,508	39		法適用企業
2 岡山県管営工業用水道事業会計	3,564	2,834	730	6,179	-	8,734	44		法適用企業
3 岡山県管営食肉地方卸売市場特別会計	1,214	1,213	1	1	1,118	6,698	6,256		法非適用企業
4 岡山県流域下水道事業特別会計	8,843	4,615	4,228	4,184	797	10,188	6,265		法非適用企業
5 岡山県港湾整備事業特別会計	4,381	4,351	30	-	654	35,615	1,786		法非適用(宅造)
6 岡山県内陸工業団地及び流通業務団地造成事業特別会計	1,354	1,353	1	-	531	11,223	7,213		法非適用(宅造)
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 公営企業会計等				14,340		78,966	21,603		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1 岡山県広域水道企業団	4,779	6,315	▲1,536	2,440	-	42,273	-	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				2,440		42,273		

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

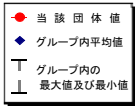
地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1 (学)吉備高原学園	▲147	2,426	528	111	-	-	-	-	
2 井原鉄道(株)	▲171	589	203	66	-	-	-	-	
3 (株)吉備高原都市サービス	2	162	50	-	-	-	-	-	
4 岡山空港ターミナル(株)	106	1,763	260	4	11	-	623	62	
5 (財)岡山県国際交流協会	19	1,152	600	-	-	-	-	-	
6 (財)岡山県環境保全事業団	406	8,657	100	2	-	-	5,821	582	
7 (財)岡山県郷土文化財団	▲4	1,103	490	15	-	-	-	-	
8 (財)岡山シンフォニーホール	▲12	155	35	-	-	-	-	-	
9 (財)岡山県体育協会	▲1	1,209	886	142	-	-	-	-	
10 (財)児島湖流域水質保全基金	▲1	239	100	-	-	-	-	-	
11 (財)岡山県福祉事業団	▲27	245	3	15	487	-	480	48	
12 (財)岡山県健康づくり財団	▲12	2,264	30	15	-	-	-	-	
13 (財)岡山県生活衛生営業指導センター	0	11	2	21	-	-	-	-	
14 (財)岡山県動物愛護財団	▲2	110	55	-	-	-	-	-	
15 (福)健康の森学園	11	268	21	-	-	-	-	-	
16 水島港国際物流センター(株)	62	1,002	300	-	-	-	57	6	
17 岡山セラミックス技術振興財団	32	465	150	-	-	-	-	-	
18 倉敷ファッションセンター(株)	7	1,079	300	-	81	-	-	-	
19 (株)オービス	130	981	158	-	-	-	-	-	
20 岡山県信用保証協会	3,249	38,136	1,243	88	-	-	9,578	1,581	
21 (財)岡山県産業振興財団	10	2,425	6	107	9,476	-	3,073	-	
22 (社)岡山県観光連盟	▲4	9	-	5	-	-	-	-	
23 岡山県農林漁業担い手育成財団	▲4	807	375	189	86	-	-	-	
24 (財)中国四国酪農大生協	36	221	52	48	-	-	-	-	
25 (株)岡山県食肉センター	5	30	14	-	-	-	-	-	
26 岡山県漁業信用基金協会	2	188	63	-	-	-	-	-	
27 (財)岡山県水産振興協会	2	729	510	-	-	-	-	-	
28 (社)おかやまの森整備公社	1,082	5,015	195	1,655	62,699	-	-	-	
29 (財)岡山県林業振興基金	0	1,931	1,650	2	460	-	-	-	
30 岡山県土地開発公社	169	6,989	100	-	144	6,813	-	-	
31 (財)吉井川水源地域対策基金	▲8	168	52	-	-	-	-	-	
32 (財)倉敷スポーツ公園	4	1,483	650	-	-	-	-	-	
33 (財)児島湖浄化センター周辺対策基金	▲1	360	172	-	-	-	-	-	
34 (財)岡山県下水道公社	0	33	15	-	-	-	-	-	
35 (公財)岡山県暴力追放運動推進センター	44	1,639	1,226	-	-	-	-	-	
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

岡山県

人口	1,931,586 人(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	7,009.60 km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	711,037,729 千円	実質公債費比率	14.6 %
歳出総額	697,769,102 千円	将来負担比率	230.7 %
実質収支	2,309,490 千円	グループ H19 B	H20 B
標準財政規模	415,638,968 千円	(年度毎)	H22 B H23 C
地方債現在高	1,336,641,907 千円		

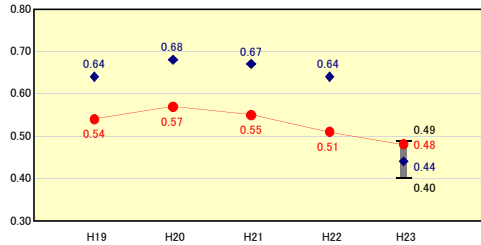


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1,000以上、Bグループ 0,500以上1,000未満、Cグループ 0,400以上0,500未満、Dグループ 0,300以上0,400未満、Eグループ 0,300未満]
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.48]

グループ内順位 2/9 都道府県平均 0.47

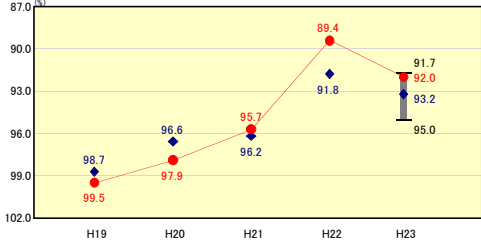


財政力指数の分析欄
 3年平均の対象がH20~H22からH21~H23となったことで、景気低迷による県税収入の減少から指数の下落幅が大きかったH20→H21の影響等により、H23の財政力指数は対前年比▲0.03405の0.47999となった。
 ただ、H23単年度の財政力指数は0.46867で、前年よりわずかに上昇している。長引く景気低迷により県税収入は伸び悩んでいるが、財政構造改革プランに基づく歳入確保等の効果も現れており、今後も歳入確保の取組を継続する。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [92.0%]

グループ内順位 2/9 都道府県平均 94.9

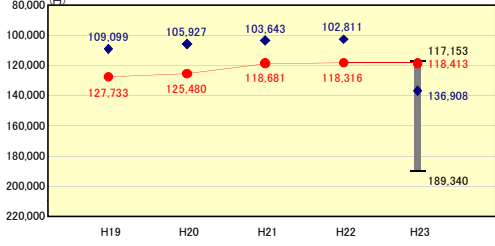


経常収支比率の分析欄
 分母となる「経常的な歳入の一般財源」は、地方税、臨時財政対策債の減少等により、対前年比約101億円の減となった。
 一方、分子となる「経常的な歳出に充当した一般財源」は、社会保障関係費を中心とする補助費等の増等により、対前年比約22億円の増となった。
 これにより、経常収支比率は対前年比2.6%上昇し92.0%となった。今後は概ね同水準で推移すると見込まれるが、引き続き、財政構造改革プランに基づく歳出削減等の取組を進め、持続可能な財政運営に努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [118,413円]

グループ内順位 3/9 都道府県平均 119,607

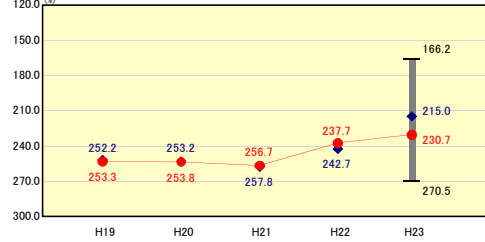


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 岡山県行財政構造改革大綱2008に基づく定員削減等により人件費の抑制に努め、また、物件費についても、内部管理経費の削減等を図っており、減少傾向にある。
 人口1人当たりの人件費・物件費等決算額は、都道府県平均を下回る水準となっている。
 今後も引き続き、人件費の見直し等、経費の縮減に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [230.7%]

グループ内順位 7/9 都道府県平均 217.5

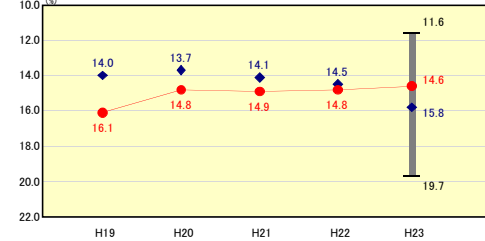


将来負担比率の分析欄
 平成23年度は、前年度と比較して7.0ポイント下落した。要因としては、基金からの繰替運用を全額解消したことにより、充当可能基金が増加したこと、また、臨時財政対策債を除く地方債の現在高が減少していることが挙げられる。
 今後も財政構造改革プランに基づき、公債費の圧縮等の取組を継続し、将来負担の軽減を図る。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [14.6%]

グループ内順位 3/9 都道府県平均 13.9

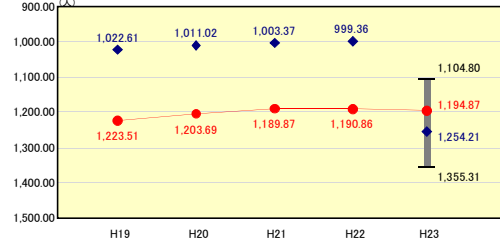


実質公債費比率の分析欄
 平成23年度は、前年度と比較して、0.2ポイント減少し、改善傾向が見られる。
 しかし、いまだ都道府県平均を上回る水準にあり、今後も財政規律を守り、持続可能な財政運営に努める必要がある。

定員管理の状況

人口10万人当たり職員数 [1,194.87人]

グループ内順位 3/9 都道府県平均 1,131.86

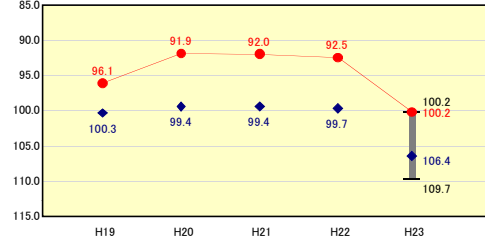


人口10万人当たり職員数の分析欄
 岡山県行財政構造改革大綱2008に基づき、最も効率的・効果的に事務事業を行うことができるスリムな組織体制を構築するため、平成20年4月の総定員に対して、平成27年4月までに1,240人の削減を目標として取り組んでいる。
 なお、平成9年度から職員数の削減に取り組んでおり、平成9年度対比で3,337人(12.6%)の削減を行っている。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [100.2]

グループ内順位 1/9 都道府県平均 107.5



ラスパイレス指数の分析欄
 平成16年度から平成20年度までの平均3%の給与カットの実施及び平成21年度から行財政構造改革大綱2008に基づく、平均7.4% (給料及び期末勤労手当7%~10%、管理職手当10%~20%)の給与カットの実施により、類似団体のみならず全都道府県でも最低水準にある。
 今後も、各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。

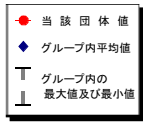
(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

岡山県

経常収支比率の分析

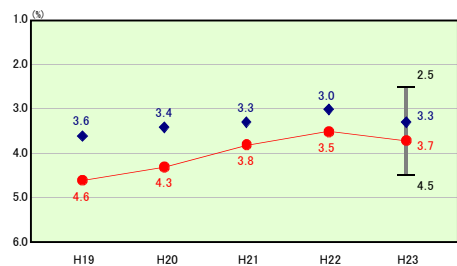
人口	1,931,586人	(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	7,009.60	km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	711,037,729	千円	実質公債費比率	14.6 %
歳出総額	697,769,102	千円	将来負担比率	230.7 %
実質収支	2,309,490	千円	グループ	H19 B H20 B H21 B
標準財政規模	415,638,968	千円	(年度毎)	H22 B H23 C
地方債現在高	1,336,641,907	千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。

[Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]

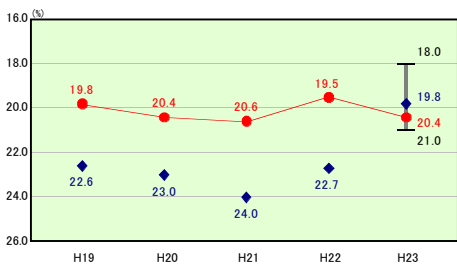
物件費



グループ内順位 6/9 都道府県平均 3.4

物件費の分析欄
 内部管理経費の削減を図る一方、業務の効率化を進める中で、民間委託化等も行ってきたことから、縮減傾向にあるものの、類似団体平均と比較して高い水準となっている。
 今後も継続的に業務を見直し、経費の削減を図る。

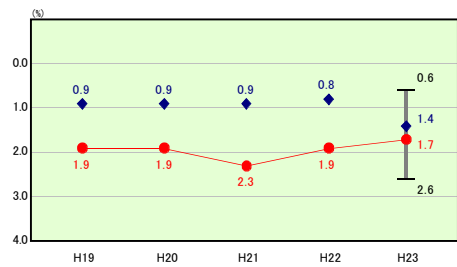
補助費等



グループ内順位 6/9 都道府県平均 23.0

補助費等の分析欄
 平成19年度から独立行政法人となった岡山県立大学、岡山県精神科医療センターに対する運営費補助金については、財政構造改革プランに基づき、総額を抑制しているものの、金額は依然として大きい。
 また、社会保障関係費の増によって、補助費等は増加傾向にある。

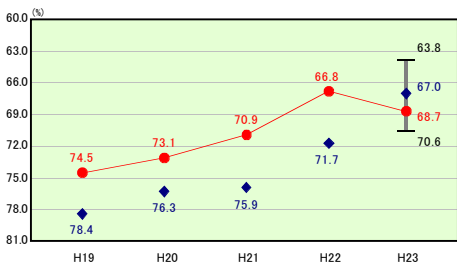
その他



グループ内順位 5/9 都道府県平均 1.3

その他の分析欄
 県有施設等の老朽化に伴い、維持修繕経費が増大しつつある。この傾向は今後も続くことが見込まれるため、ファンリティマネジメントの導入も含め、適切な維持修繕・管理について、対応を検討する必要がある。

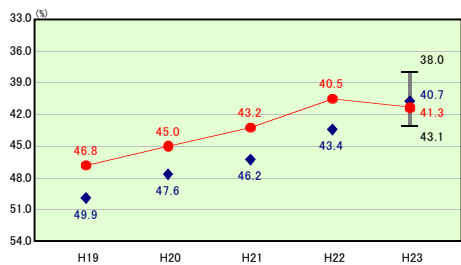
公債費以外



グループ内順位 7/9 都道府県平均 71.6

公債費以外の分析欄
 平成22年度までは経常収支比率は下落傾向であったが、業務の民間委託化等による物件費の増、社会保障関係費(扶助費、補助費等)の増により、平成23年度決算では比率が上昇した。
 類似団体平均と比較しても高い水準であり、今後も引き続き、財政構造改革プランに基づき、持続可能な財政運営に努める。

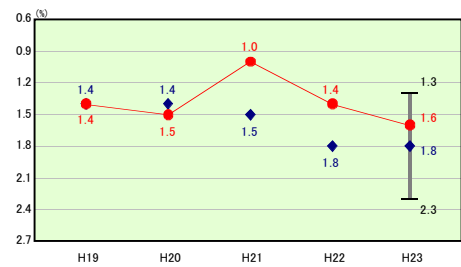
人件費



グループ内順位 6/9 都道府県平均 41.8

人件費の分析欄
 岡山県行財政構造改革大綱2008に基づき、職員数の削減及び県独自の給与カットを行っており、また、諸手当・旅費の見直し、臨時的任用職員の削減等にも取り組んできた。
 平成23年度の経常収支比率では、前年度と比べ0.8%上昇しているが、決算額では縮減傾向が続いている。
 今後もより一層の人件費の適正化に努める。

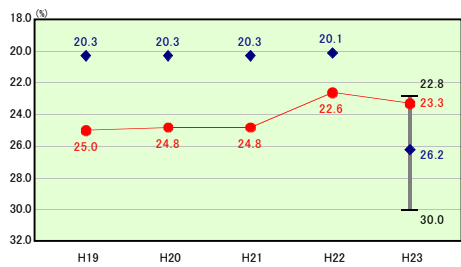
扶助費



グループ内順位 3/9 都道府県平均 2.1

扶助費の分析欄
 行財政改革を行っている中において、社会保障関係費は増加傾向にあり、今後も増加が見込まれている。
 今後、国の動向も注視しつつ、社会保障関係費の増大に対応していく必要がある。

公債費



グループ内順位 2/9 都道府県平均 23.3

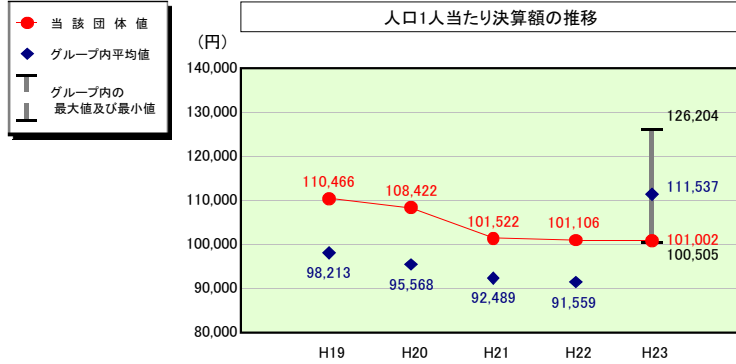
公債費の分析欄
 臨時財政対策債に係る公債費は増加傾向であるが、その他の公債費については、発行抑制を図っており、また、公的資金補償金免除繰上償還の実施や金融機関の自由競争による資金調達活用の活用などにより、減少傾向である。
 今後も財政構造改革プランに基づき、公債費の圧縮に取り組む。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

岡山県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



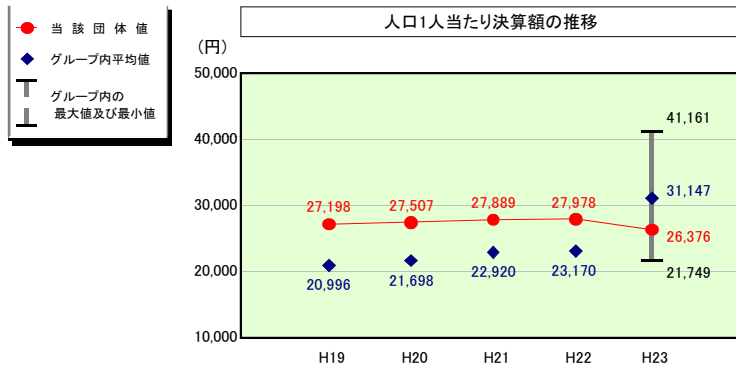
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
人件費	212,216,711	109,867	120,881	▲ 9.1
賃金(物件費)	1,044,726	541	574	▲ 5.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	295	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰入金)	21,493	11	35	▲ 68.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,548,599	802	1,494	▲ 46.3
▲退職金	▲ 19,737,243	▲ 10,218	▲ 11,742	▲ 13.0
合計	195,094,286	101,002	111,537	▲ 9.4

参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,194.87	1,254.21	▲ 59.34
ラスバイレス指数	100.2	106.4	▲ 6.2

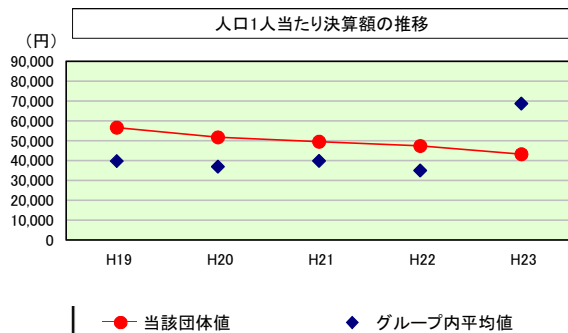
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	97,221,593	50,333	63,366	▲ 20.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	611	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	4,000,000	2,071	5,757	▲ 64.0
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	2,255,567	1,168	1,172	▲ 0.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	6	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,809,308	1,454	1,297	12.1
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	14	-
▲特定財源の額	▲ 3,124,825	▲ 1,618	▲ 5,353	▲ 69.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 52,214,049	▲ 27,032	▲ 35,723	▲ 24.3
合計	50,947,594	26,376	31,147	▲ 15.3

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

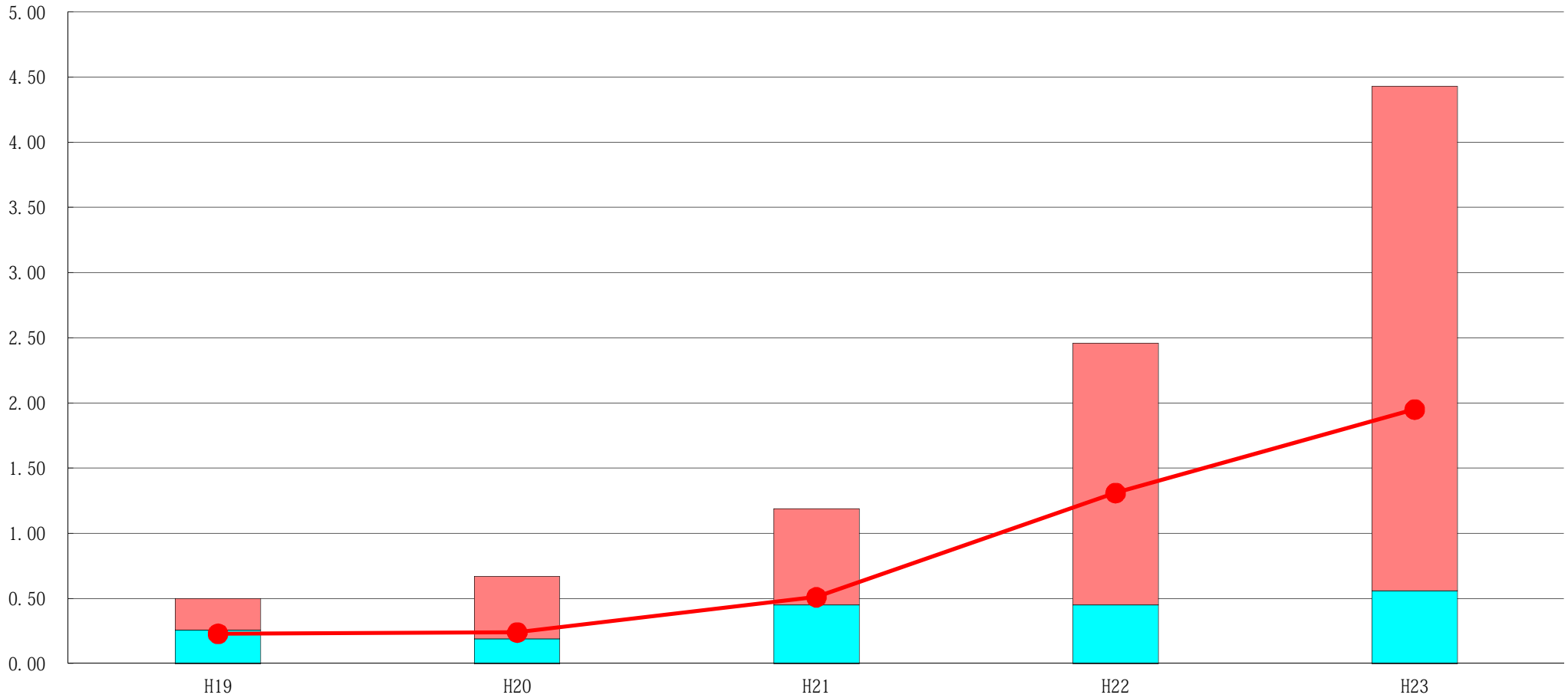
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	110,519,670	56,728	▲ 8.6	39,894	▲ 52.2	43.6
うち単独分	47,993,482	24,634	▲ 7.2	17,501	▲ 43.7	36.5
H20	100,738,387	51,824	▲ 8.6	37,006	▲ 7.2	1.4
うち単独分	43,047,641	22,145	▲ 10.1	15,712	▲ 10.2	0.1
H21	96,269,693	49,638	▲ 4.2	39,867	7.7	▲ 11.9
うち単独分	43,661,337	22,512	1.7	17,212	9.5	▲ 7.8
H22	91,824,377	47,478	▲ 4.4	35,074	▲ 12.0	7.6
うち単独分	41,929,276	21,679	▲ 3.7	16,700	▲ 3.0	▲ 0.7
H23	83,674,158	43,319	▲ 8.8	68,694	95.9	▲ 104.7
うち単独分	31,283,998	16,196	▲ 25.3	22,902	37.1	▲ 62.4
過去5年間平均	96,605,257	49,797	▲ 6.9	44,107	6.4	▲ 13.3
うち単独分	41,583,147	21,433	▲ 8.9	18,005	▲ 2.1	▲ 6.8

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




平成23年度

岡山県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		0.24	0.48	0.74	2.01	3.87
 実質収支額		0.26	0.19	0.45	0.45	0.56
 実質単年度収支		0.23	0.24	0.51	1.31	1.95

分析欄

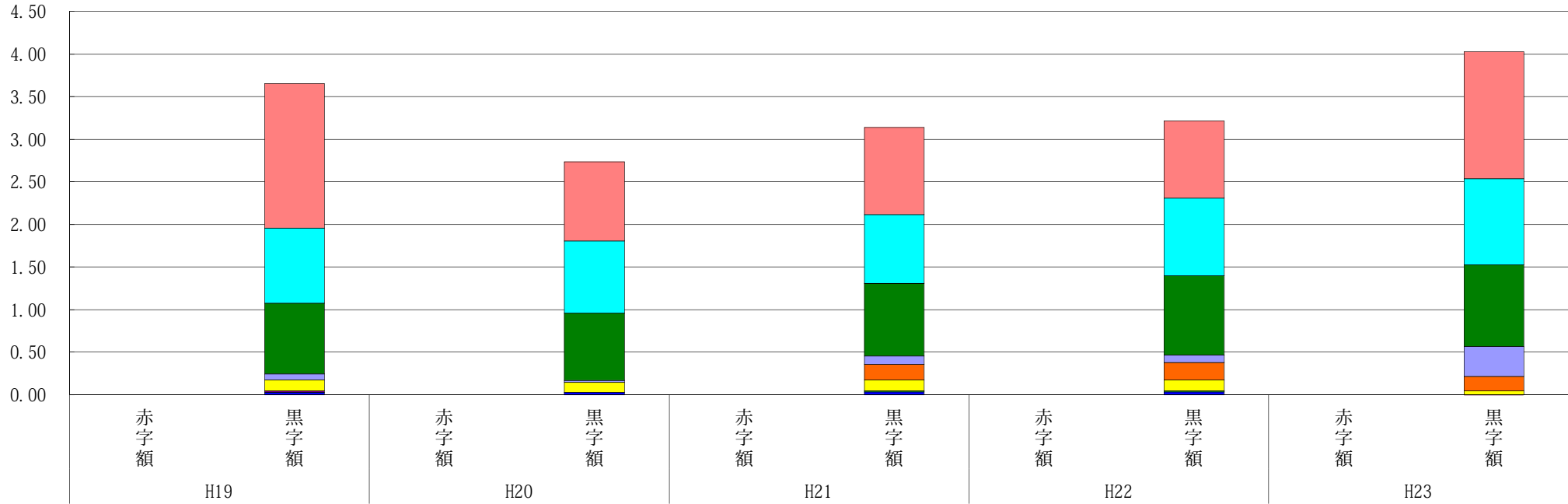
行財政改革の取組により、財政調整基金残高は標準財政規模比3%を上回る水準となった他、実質収支比率も上昇してきている。
 ただし、財政調整基金については、後年度に見込まれる財政需要に備えて積立を行っている部分が多く、自由に活用できる残高はまだ十分とは言えない。
 また、県独自の給与カット等の緊急避難的な対策に依存している状況であることから、今後も引き続き、財政構造改革プランに基づき、持続可能な財政運営に努める必要がある。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成23年度

岡山県

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
岡山県営工業用水道事業会計		1.70	0.93	1.02	0.91	1.49
岡山県流域下水道事業特別会計		0.88	0.85	0.81	0.91	1.01
岡山県営電気事業会計		0.83	0.79	0.85	0.93	0.96
一般会計		0.07	0.02	0.10	0.09	0.35
岡山県公共用地等取得事業特別会計		0.00	0.00	0.18	0.20	0.17
岡山県収入証紙等特別会計		0.13	0.12	0.13	0.13	0.04
岡山県造林事業等特別会計		0.02	0.00	0.00	0.00	0.01
岡山県用品調達特別会計		0.00	0.00	0.01	0.01	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.03	0.03	0.04	0.04	0.00

分析欄

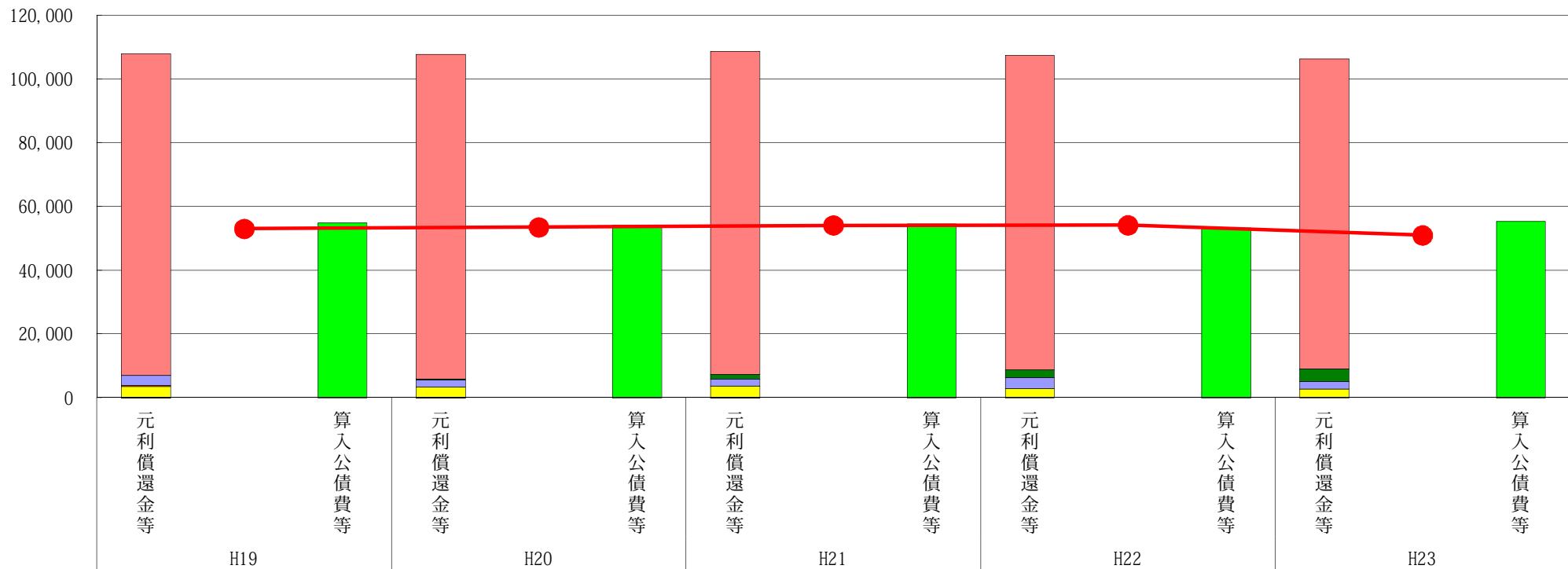
いずれの会計においても、実質赤字額、資金不足額は生じていない。
今後も持続可能な財政運営・健全経営に努める。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成23年度

岡山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)	元利償還金		100,808	101,724	101,394	98,610	97,222
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	333	1,333	2,333	4,000
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		3,212	2,295	2,245	3,526	2,256
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		260	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		3,612	3,333	3,737	2,927	2,809
	一時借入金の利子		3	26	23	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		54,906	54,241	54,644	53,286	55,340
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		52,989	53,470	54,088	54,110	50,947

分析欄

元利償還金等の公債費については、臨時財政対策債の発行増により全体では増加傾向にあるものの、それを除くと、徐々に減少していく見込みである。
引き続き財政構造改革プランに基づき公債費の圧縮に努めるなど、財政の健全化に向けた取組を継続していくこととしている。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

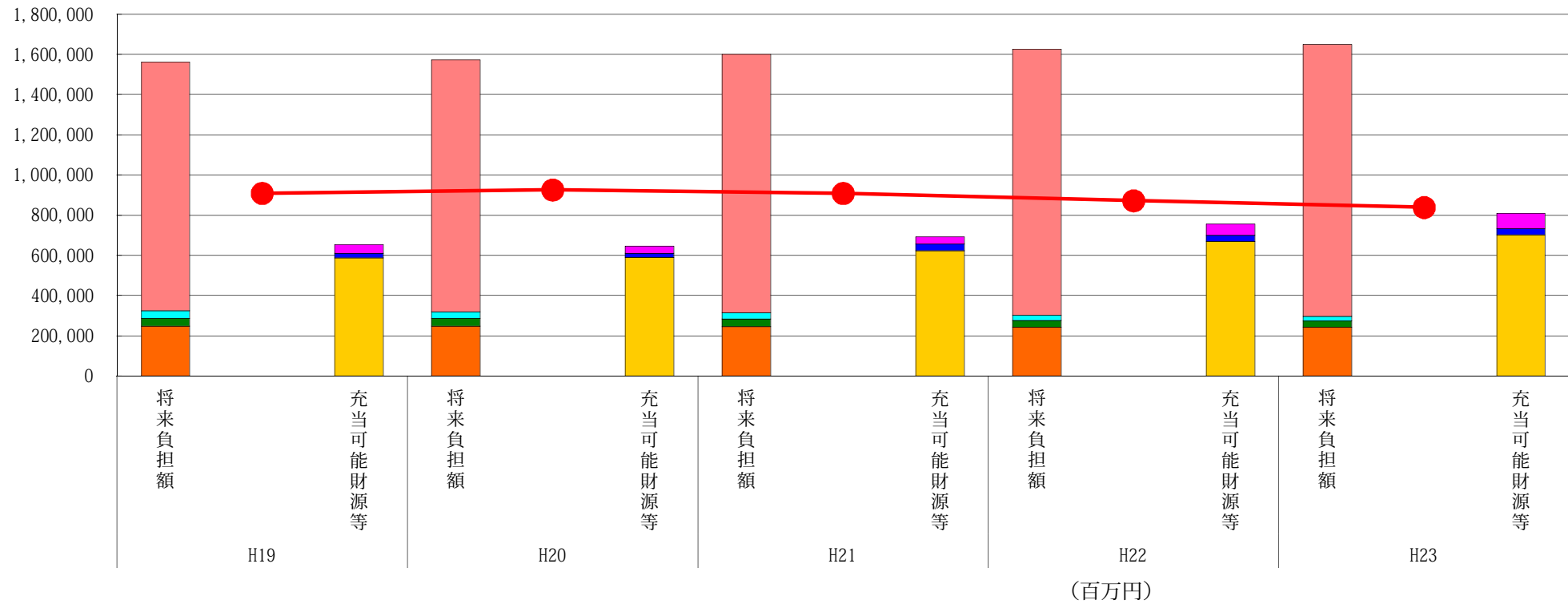
※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成23年度

岡山県

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,239,380	1,252,450	1,284,766	1,324,461	1,351,909
	債務負担行為に基づく支出予定額		38,028	34,623	30,725	25,520	23,658
	公営企業債等繰入見込額		37,296	38,428	38,814	33,611	29,503
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		246,364	244,556	243,259	241,731	242,310
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,741	3,351	3,421	2,269	2,279
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		42,632	36,156	34,355	56,065	77,144
	充当可能特定歳入		23,974	20,336	33,004	29,288	29,687
	基準財政需要額算入見込額		587,941	591,257	624,910	670,229	704,154
(A) - (B)	将来負担比率の分子		909,262	925,659	908,718	872,010	838,674

分析欄

分子の主要項目である地方債現在高については、総額は増加を続けているが、これは臨時財政対策債の増加によるものであり、基準財政需要額算入見込額にも反映されている。臨時財政対策債を除く地方債現在高は減少しており、分子全体としても減少傾向にある。

財政構造改革プランに基づき、公債費を圧縮するとともに、繰替運用を解消して充当可能基金残高を増加させるなど、今後も将来負担の軽減に向けた取組を継続していくこととしている。